

Ⅱ そ の 他

Ⅱ そ の 他

1. 技術の普及および指導

1. 1 調査研究部

普及指導事項	実施月	対 象	場 所	人 数	担 当 者
道南の水産資源の増養殖管理	4/21	市民（水産・海洋コーディネーター：新水産・海洋都市はこだてを支える人材育成）	函館市	9名	赤池
平成22年度漁場環境調査について、青森県産ベビーに寄生したホタテエラカザリについて	5/31	噴火湾ホタテ生産振興協議会専門部会	長万部町	30名	今井・馬場・渡野邊
マツカワ標識放流指導	5/27	噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会	伊達市	約10名	吉田
藻場調査指導	6/1	福島町役場、渡島西部指導所	福島町	6名	吉田・赤池
稚貝へい死・欠殻・変形要因について	6/10	八雲町漁協ホタテ漁業部会	八雲町	44名	馬場・金森
稚貝へい死と変形要因について	6/16	噴火湾生産振興協議会	札幌市	33名	今井・馬場
平成21年秋の稚貝へい死について、ザラボヤについて	6/29	長万部漁業協同組合 長万部漁協はたて養殖研究会	長万部町	43名	馬場・金森
青森県産ベビーに寄生したホタテ・エラカザリについて	7/14	噴火湾はたて生産振興協議会専門部会	長万部町	16名	馬場・金森・渡野邊
噴火湾ホタテガイ生産安定化モニタリング試験、貝毒プランクトンによるホタテガイ毒化実態	7/15	北海道はたて漁業振興協会	札幌市	250名	馬場
平成21年度の放流種苗追跡及び餌料調査の結果について	7/30	マツカワ種苗放流事業担当者	八雲町	12名	吉田
マツカワ放流指導	8/20	渡島東部海域栽培漁業協議会	函館市白尻	18名	吉田
マツカワ放流指導	8/24	噴火湾渡島海域漁業振興協議会	八雲町落部	15名	吉田
マツカワ放流指導	8/25	噴火湾渡島海域漁業振興協議会	森町	20名	吉田
マツカワ放流指導	8/27	噴火湾渡島海域漁業振興協議会	長万部町	18名	吉田
マツカワ放流指導	8/30	噴火湾渡島海域漁業振興協議会	八雲町	29名	吉田
マツカワ放流指導	8/31	噴火湾渡島海域漁業振興協議会	森町砂原	24名	吉田・本間
マツカワ放流指導	9/1	渡島東部海域栽培漁業協議会	鹿部町	20名	吉田
上ノ国町藻場再生実証事業調査結果について	9/2	上ノ国町藻場再生事業推進協議会	上ノ国町	17名	赤池・吉田
マツカワ放流指導	9/9	噴火湾渡島海域漁業振興協議会	長万部町	14名	吉田
2010年の噴火湾における養殖ホタテを取り巻く海洋環境について、噴火湾におけるヨーロッパザラボヤの発生状況について	9/15	噴火湾ホタテガイ漁業士意見交換会	八雲町	28名	馬場・金森
北海道（噴火湾・日本海他の）スケトウダラの資源状況と漁業予測について	9/22	鹿部商工会水産部会 鹿部水産加工組合青年部 水産食品製造業者 （経営者及び後継者等）	鹿部町	10名	本間
2010年道南海域のスルメイカ漁況と今後の見通し	9/30	室蘭漁業協同組合	室蘭市	15名	澤村
水産資源概論について	10/25	漁業研修所総合研修（受講生）	鹿部町	43名	今井

磯焼け対策総合推進事業の概要及び藻場再生実証事業における21年度の結果と今後の計画	10/25	磯焼け対策全国協議会	東京都	220名	赤池
桧山の漁況とスケトウダラ漁期前調査結果	11/5	爾志海区すけそう部会	乙部町	50名	本間
平成22年度の道西日本海に於けるすけとうだら産卵群の来遊資源量の予測調査について	11/9	桧山すけとうだら延縄漁業振興協議会	乙部町	60名	本間
マナマコ種苗放流技術開発について	11/9	平成22年度渡島管内普及課題統括企画調整会議	函館市	26名	赤池
磯焼け対策実証事業への取り組みについて	11/11	平成22年度桧山管内普及課題統括企画調整会議	江差町	19名	赤池
ホタテガイ養殖漁業環境調査の報告について	11/24	噴火湾ホタテ生産振興協議会専門部会	札幌市	16名	馬場・渡野邊
平成22年度スルメイカ漁況について、噴火湾の養殖ホタテ漁場におけるヨーロッパザラボヤについて、噴火湾養殖ホタテ稚貝のへい死について	12/1	平成22年度青函水産試験研究交流会議	青森市	56名	澤村・馬場・金森
ホタテガイ養殖漁場環境調査結果の報告について	12/9	噴火湾ホタテ生産振興協議会	長万部町	27名	渡野邊
奥尻島におけるナマコ放流追跡調査の経過	1/19	北海道ナマコ栽培技術検討協議会(放流技術開発分科会)	札幌市	120名	赤池
桧山海域におけるスケトウダラ漁況の概要	1/21	爾志海区助宗部会臨時総会	八雲町熊石	50名	本間
液肥の海中添加による藻場再生実証事業	1/21	北海道磯焼け対策連絡会議	札幌市	210名	今井・赤池・吉田
噴火湾養殖ホタテガイ稚貝のへい死について、噴火湾養殖ホタテ貝に付着したヨーロッパザラボヤの生態と影響について	1/26	八雲町漁協ホタテ漁業部会	八雲町	70名	馬場・金森
噴火湾養殖ホタテガイ稚貝のへい死について、噴火湾養殖ホタテ貝に付着したヨーロッパザラボヤの生態と影響について	2/2	六単協ホタテ養殖部会	鹿部町	67名	馬場・金森
噴火湾養殖ホタテガイ稚貝のへい死について、噴火湾養殖ホタテ貝に付着したヨーロッパザラボヤの生態と影響について	2/5	森漁協ホタテ養殖部会	森町	50名	馬場・金森
渡島海域における主要魚種の資源評価について	2/9	渡島地区資源管理推進委員会	函館市	22名	今井
道南太平洋スケトウダラの資源状況について	2/10	函館市南茅部沿岸漁業大学	函館市	約70名	本間
ナマコ資源増大推進事業について	2/15	ひやま漁協奥尻支所ナマコ部会(北部)	奥尻町	25名	赤池
ナマコ種苗放流試験について	2/22	平成22年度函館市水産産学連携交流会	函館市	40名	赤池
福島町における10年間の藻場調査結果	3/3	浜を豊かにする調査研究発表会	福島町	38名	吉田・赤池
噴火湾養殖ホタテガイ稚貝のへい死について、噴火湾養殖ホタテ貝に付着したヨーロッパザラボヤの生態と影響について	3/4	豊浦ほたて養殖部会勉強会	豊浦町	24名	馬場・金森
桧山海域での主要魚種の資源評価、2010年の道南海域のホッケ漁況	3/8	桧山地区資源管理推進委員会	乙部町	24名	今井
長万部河口域に放流したマツカワ種苗の追跡調査	3/8	マツカワ栽培漁業研究会	札幌市	67名	吉田

2. 試験研究成果普及・広報活動

区 分	開催地	開 催 日	人数	内 容
平成22年度青函水産試験研究交流会議	青森市	平成22年12月1日	56	H22年度スルメイカ漁況について、噴火湾養殖ホタテ漁場におけるヨーロッパザラボヤについて、噴火湾養殖ホタテ稚貝のへい死について
青函水産試験研究交流会議 (ホタテ部会)	函館市	平成22年12月16日－17日	20	噴火湾ホタテガイ稚貝へい死について、噴火湾養殖ホタテ漁場におけるヨーロッパザラボヤ について
函館水産試験場成果報告会	函館市	平成23年5月27日 * 3月14日開催予定が 東北地方大震災 (3月11日)によ り延期	46	日本海海域のスケトウダラの資源状況について、施肥とウニ除去による磯焼け漁場藻場再生試験について

3. 研修・視察来場者の記録

区 分	件 数	人 数	摘 要
管内（渡島・檜山）	0	0	
道内（上記以外）	0	0	
道外	1	13	新潟県立海洋高校
国外	0	0	
計	1	13	

4. 所属研究員の発表論文等一覧

1. 海草スガモ葉上におけるウチダヘソカドタマキビの産卵場所選択：金森 誠，長谷川夏樹（北水研），向井 宏・五嶋聖治（北大院） 日本貝類学会平成22年度大会（名古屋）研究発表要旨，2010.4
2. High-Level Congruence of *Myrionecta rubra* Prey and *Dinophysis* Species Plastid Identities as Revealed by Genetic Analyses of Isolates from Japanese Coastal Waters：Goh Nishitani, Satoshi Nagai, **Katuhisa Baba**, Susumu Kiyokawa, Yuki Kosaka, Kazuyoshi Miyamura, Tetsuya Nishikawa, Kiyonari Sakurada, Akiyoshi Shinada, and Takashi Kamiyama Applied and Environmental Microbiology, 76, 2791-2798, 2010.5
3. 有毒渦鞭毛藻 *Alexandrium ostenferdii* の核リボソームRNA遺伝子領域に見られる多型とLAMP法を用いた1細胞からの検出：長井敏（瀬戸内水研），Pia Maenpaa Anke Kremp, **馬場勝寿**，宮園章（道総研網走水試），Anna Godhe, Lincoln Mackenzie, Donald Anderson DNAt多型，18, 122-126, 2010.5
4. 航空写真がとらえた積丹半島の藻場の変遷：**赤池章一** 藻場を育てる知恵と技術 藤田大介・村瀬 昇・桑原久実（編著），137-142, 2010.6
5. 道南海域におけるスルメイカの北上期の来遊状況と水温分布との関係：**澤村正幸** 北水試だより，81, 1-4, 2010.10
6. ヨーロッパザラボヤの分解実験と海底ビデオ撮影結果：**馬場勝寿** 北水試だより，81, 13-14, 2010.10
7. 栄養塩添加による磯焼け漁場藻場再生調査2 -施肥による栄養塩濃度の変化と海藻類の利用-：栗林貴範・浅見大樹・嶋田 宏・品田晃良・田中伊織（道総研中央水試），**赤池章一**・**吉田秀嗣**・**今井義弘**，宮園章（道総研網走水試），高橋正士・廣原正康・河井 涉（道檜山南水指），須貝英仁（道後志南水指），齊藤 誠・小川雄大（道檜山振興局），南川雅男（北大院地球環境） 平成23年度日本水産学会春季大会講演要旨集，414, 47, 2011.3
8. 栄養塩添加による磯焼け漁場藻場再生調査3 施肥とウニ除去による藻場の形成状況：**赤池章一**・**吉田秀嗣**，栗林 貴範（道総研中央水試），宮園章（道総研網走水試），廣原正康（道檜山南水指），須貝英仁（道後志南水指），小川雄大（道檜山振興局），金子宏（道水産林務部），木村直和（上ノ国町） 平成23年度日本水産学会春季大会講演要旨集，415, 47, 2011.3
9. 北海道から放流したマツカワ人工種苗の青森県から茨城県沖における再捕年齢，時期および全長の特徴：**吉田秀嗣**，高谷義幸・松田泰平（道総研栽培水試） 水産技術，3 (2), 121-126, 2011.3
10. 藻場再生へのチャレンジ -貧栄養海域への栄養塩添加試験-：栗林貴範（道総研中央水試），**赤池章一** 北水試だより，82, 11-12, 2011.3
11. 音でみる ～周波数差分を用いた魚種判別の試み～：**藤岡 崇** 試験研究は今，683, 2011.3

平成22年度 道総研函館水産試験場事業報告書

平成24年 1 月

編集・発行 地方独立行政法人北海道立総合研究機構
水産研究本部函館水産試験場

〒042-0932 北海道函館市湯川町1丁目2番66号

TEL0138-57-5998
